



能登町議会議長
向峠 茂人



能登町長
持木 一茂

謹賀

新年

旧年中は、町政全般にわたり、格別のご理解ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。本年も、皆様と共に、能登町の人と暮らしが輝きを増すことができますよう、努めてまいりたいと思います。

さて、本年は酉年でございます。この酉という字は鶏を指すものですが、元々は口の細い酒壺を描いたもので、作物が収穫できる状態であることや、収穫した作物から酒を抽出することを表すそうです。丁度、今の時期は我が町の誇る能登杜氏が寒造りの酒を仕込むため蔵入りしている最中であり、受け継がれた伝統の技と、独自の工夫から極上の能登流の酒を造りだす様が目に浮かびます。

また、酉（トリ）は「取り込む」に繋がるとされ、酉年は商売に縁起のよい年だと言われておりますので、皆様が生産する様々な業種で商売繁盛することを願っております。

能登町のような規模の自治体では、町内だけの人・物・金の流通ではな

なか商売繁盛とはなりません。いかにして人を呼び込むか、そしてどのように町外への販路を開拓するかが大切です。そのためには定住人口・交流人口の拡大と第一次産業の活性化を進めなければなりません。こういった分野は民間の経営者の方々が専門家でありますが、町としてもできる限りのサポート体制を整え、町を活性化させる方々を応援したいと考えております。

具体的に例を挙げますと、定住促進協議会が行っている移住者の積極的な募集が効果を上げておりますし、定住者を呼び込むための町営借り上げ住宅制度や、古民家の改装助成も行っております。第一次産業の面では、今春に宇出津港で水産加工処理施設および鮮度保持施設が完成します。各地では場整備が進められているほか、昨年度立ち上げられた能登町おいしいお米づくり研究会では、ブランド牛である能登牛の堆肥を利用したブランド米「能登姫」が誕生しております。

交流の面では、昨年もさまざまなイ

ベントが催されました。皆様におかれましては参加者として、係員として多くのイベントにご出席いただき、感謝申し上げます。町民どうしが顔を合わせ、活動することによって町民の輪が広がり、町に活気が生まれます。さらに町外の方々と出会うことによって交流の輪が広がっていくことを期待しております。イベント情報は、毎月お届けしております広報のとや有線放送、町のホームページに掲載しておりますのでご確認いただき、今後も積極的なご参加をお待ちしております。新たな出会いもあるでしょうし、何かの気付きに繋がるかもしれません。

最後に、皆さんにとりまして、本年が健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日ごろから議会活動に温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成28年第8回能登町議会12月定例会議において、議員の皆様のご推挙を賜り議長に就任させていただきました。議員各位の意見も拝聴しながら、職務を遂行していく所存であります。

また、更なる議会改革につとめるとともに、開かれた議会・信頼される議会を目指し、町民の皆様に分かりやすく伝えることができるよう町政発展のため頑張っていきたいと思います。

さて、昨年を振り返りますと、「議会と語ろう会」を町内5会場で開催し、多くの方々に会場に足を運んでいただきました。

町民の皆様には、町政の発展について、貴重なご意見を多数頂戴いたしました。今後も、より透明で開かれた議会運営ため、このような町民の皆様と膝を交えて語ることでできる場をぜひ設けたいと思っております。

また、昨年3月に設置した「まち・ひと・しごと創生特別委員会」では、「ひとと分科会」、「しごと分科会」を組織し、「まちへの新しい人の流れをつくること」や「まちにおける安定した雇用を創出すること」などを提案事項とし、分科会活動をしております。今年度も先進地視察研修を行うほか、1月に「まち・ひと・しごと創生特別委員会」の活動として国会関係機関へ直接、意見書を持参し、陳情活動等をする予定です。講師等を招聘した議員研修会などを開催し、今後の提案に向けた活動に取り組む所存でございます。今後につ

いても、より良い活動の報告をさせていただけるよう議員一同まい進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が健康で幸多い一年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。